

『新しい植物ホルモンの科学 第3版』第1刷正誤表（2017年12月現在）

このたびは、標記書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

標記書籍に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

頁数	位置	誤	正
26	図 3.3	 <p>右の葉に サイトカイニンを塗る</p>	 <p>右の葉に サイトカイニンを塗る</p>
29	A 10行目	LONLY	LONELY
29	C 1,3行目	<i>lonly</i>	<i>lonely</i>
32	3.5.1 5行目	ヒスチシジンキナーゼ	ヒスチジンキナーゼ
40	下から2行目	直行	直交
44	4.3.2 下から5行目	16,17-エポシキ化	16,17-エポキシ化
52	1行目	(図 4.9)	削除
65	5.4.1 4行目	アブシジシン酸	アブシシン酸
67	図 5.11	アブシシン酸が <u>ある</u> とき アブシシン酸が <u>ない</u> とき	アブシシン酸が <u>ない</u> とき アブシシン酸が <u>ある</u> とき ※図の左側がアブシシン酸がな いとき、右側があるときを表す
105	図 8.1		下図に差し替え
106	8.2.2 3行目	植物には他にもさまざまなジ ャスモン酸類縁体が存在する	他にもさまざまなジャスモン酸 類縁体が知られている
114	図 8.5	12OH-JA-Ile 12COOH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile カルボキシ-JA-Ile
115	下から 4,9行目	12OH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile
115	下から 4,8行目	12COOH-JA-Ile	カルボキシ-JA-Ile
116	11,23,24,25 行目	12-HSO ₄ -JA	12-スルホキシ-JA
116	16,23行目	12OH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile

116	19 行目	(図 8.5)	(図 8.1)
116	23	12COOH-JA-Ile	カルボキシ-JA-Ile
147	10.7 9 行目	<p>野生種のジャガイモでは、短日条件が花成と塊茎（いも）の形成を誘導するが、2つの FT タンパク質（StSP3D と StSP6A）がこれを仲介する。短日条件により、地上部では StSP3D が合成されてフロリゲンとして花成を促す一方で、葉と地下茎で StSP6A が合成され、</p>	<p>栽培種のジャガイモの花成においては日長は重要な環境要因ではないが、ジャガイモの FT タンパク質である StSP3D が花成に促進的に働くことが知られている。野生種のジャガイモは短日条件で塊茎（いも）を形成する。短日条件では、FT に似たタンパク質である StSP6A が葉で合成され、これが（おそらく）</p>
166	図 12.4	<p>安息香酸</p> <p>↓ BA2H</p> <p>安息香酸</p>	<p>サリチル酸</p> <p>↑ BA2H</p> <p>安息香酸</p>
付録 CD 22	補図 8.1	12OH-JA-Ile 12COOH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile カルボキシ-JA-Ile
付録 CD 24	B 2,5,7 行目	12OH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile
付録 CD 24	B 3,7 行目	12COOH-JA-Ile	カルボキシ-JA-Ile
付録 CD 24	下から 2 行目	12-HSO ₄ -JA	12-スルホキシ-JA
付録 CD 25	12,18 行目	12OH-JA-Ile	12-ヒドロキシ-JA-Ile

付録 CD 25	12 行目	(図 8.5)	(補図 8.1)
付録 CD 25	14 行目	(図 8.5)	(図 8.1)
付録 CD 25	18,19,20 行目	12-HSO ₄ -JA	12-スルホキシ-JA
付録 CD 25	18 行目	12COOH-JA-Ile	カルボキシ-JA-Ile

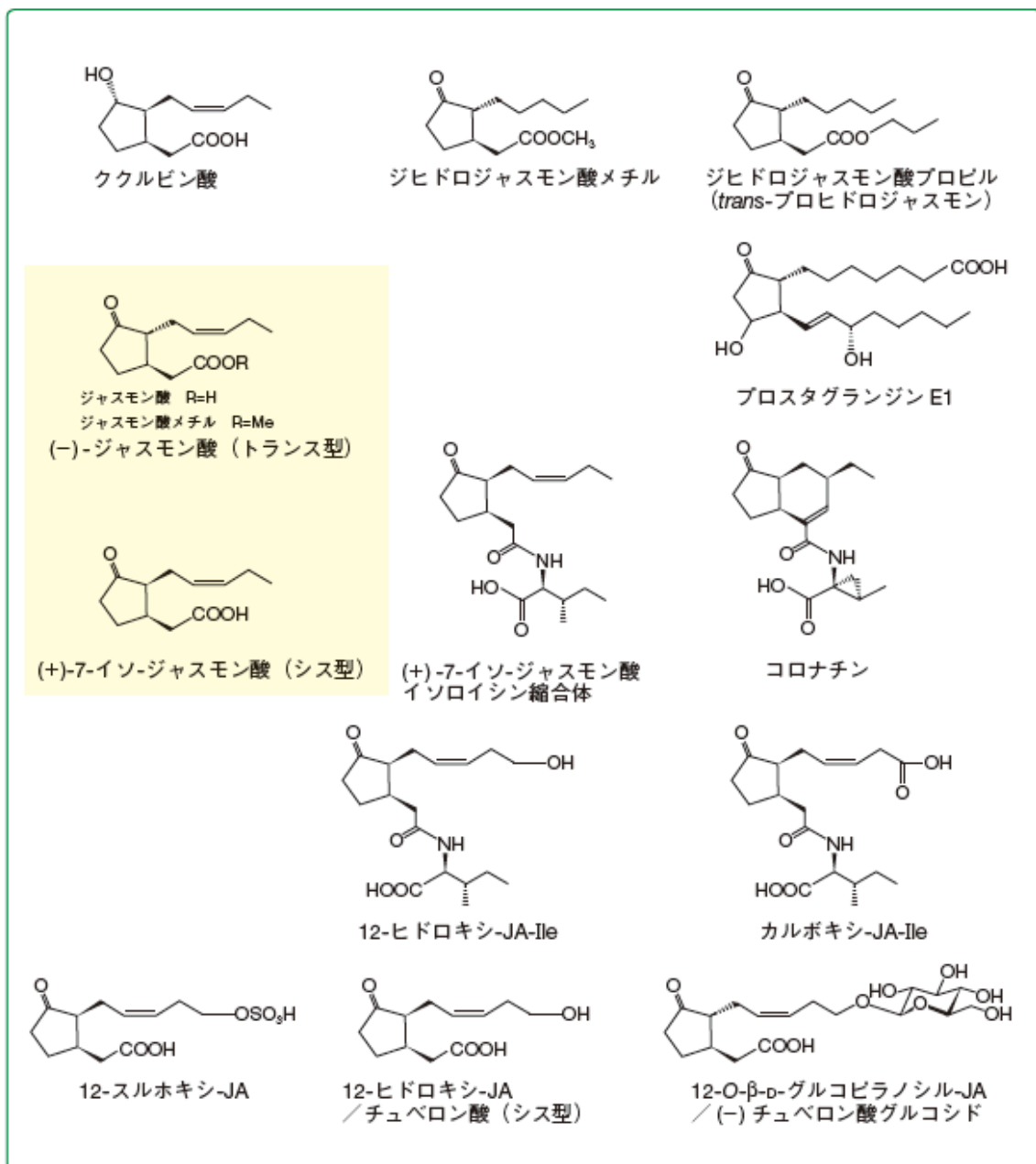


図8.1 ジャスモン酸類の構造